



常任委員会

袋井市民病院医師住宅跡地の未売却物件について、来年度の方針は。

民生福祉委員会



市民病院医師住宅の跡地(清水町地内)

医師住宅跡地の売却について、今年度は応募資格を市内在住の勤者のみとしていたが、来年度は引き続き不動産業者は除くが、市外の方も可能とし、門戸を広めていく。

新しくできる観光案内所の中に、袋井市観光協会、商工課、あさばまちおこし協会の3団体が入るといふことだが、勤務状態と給料形態は。

建設経済委員会

観光案内所の開業時間は午前9時30分から午後6時までで、休みは毎週月曜日を予定している。同じ事務所内で3団体がそれぞれの業務を行い、給料・報酬は、それぞれの団体から支払われ、会計経理は3つに分かれる形態となる。

水道料金再編のための水道料金懇話会をどのように進めていくのか。

建設経済委員会

委員の委嘱、水道事業の現状説明、施設見学、計画の説明、料金改定の方針についての決定を行う。年末に改定料金を提示し、意見聴取を行い、1月に再審議し、3月に意見書を取りまとめ、平成21年9月議会で条例改正できるよう考えている。懇話会は年6回程度を予定している。

当初、にぎわい新都心計画について、市は受身的であったが、現在は市が主体で事業を推進している。実際の事業主体は誰か。事業者選定プロポーザルはなぜ市で行うのか。

建設経済委員会



新たなまちづくりが検討されている国本地区

国本地域の都市計画や農業振興などに関係するため、市が主体となつて中身を考えるが、実施自体は民間事業者となる。プロポーザルコンペは、ここでどのようなものをやっていくかを提案してもらつたもので、法規制上の課題をクリアしていくために市が実施する。